

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民科 科目 政治・経済

教科 公民科

科目 政治・経済

単位数 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：（A組： 猪俣 ） （B組： 猪俣 ） （C組： 猪俣 ） （D組： 猪俣 ） （E組： 猪俣 ）

使用教科書：（東京書籍 『政治・経済』）

教科 公民科

の目標：

【知識及び技能】考察・選択・判断の為の手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入ながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うと共に、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 政治・経済

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	民主政治の基本原理 【知識及び技能】 民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにどのようなことが必要かを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	・民主政治の成立 ・法と民主政治 ・基本的人権の確立 ・現代の民主政治 ・世界のおもな政治体制	【知識・技能】 ・民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにどのようなことが必要かを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	日本国憲法の基本原理 【知識及び技能】 明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているかを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	・日本国憲法の制定と基本原理 ・基本的人権の保障 ・平和主義	【知識・技能】 ・明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	4
	日本の政治機構・現代政治の特質と課題 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・立法・行政・司法 ・地方自治 ・戦後政治と政党 ・選挙と政治意識 ・世論と政治参加	【知識・技能】 ・国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるかを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

	現代日本の経済 【知識及び技能】 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民所得と経済成長、物価と景気変動、財政のしくみと役割および租税などの意義を総合的にとらえ、機能について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考・判断力・表現力等】 個人の尊厳と基本的な人権の尊重、対立・協調、効率、公正などに着目して、経済活動と福祉の向上との関連ならびに市場経済の機能と限界、持続可能な財政および租税のあり方、金融を通した経済活動の活性化について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	・現代の資本主義のみ義 ・現代経済のしくみ ・日本経済の発展と現状 ・福祉社会と日本経済の課題	【知識・技能】 ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民所得と経済成長、物価と景気変動、財政のしくみと役割および租税などの意義、金融のしくみと機能について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立・協調、効率、公正などに着目して、経済活動と福祉の向上との関連ならびに市場経済の機能と限界、持続可能な財政および租税のあり方、金融を通した経済活動の活性化について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解	○ ○ ○ ○	20
	定期考査			○ ○ ○ ○	1
2学期	現代日本の諸課題 【知識及び技能】 現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる。 【思考・判断力・表現力等】 少子高齢化社会における社会保障、地域社会の活性化、多様な働き方・生き方の実現、中小企業の意義と課題、日本財政の健全化、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全、安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治・経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとする。	・少子高齢化社会における社会保障・地域社会の活性化 ・多様な働き方・生き方の実現 ・中小企業の意義と課題 ・日本の財政の健全化 ・持続可能な食料・農業の実現 ・防災と安全・安心な社会の実現	【知識・技能】 現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 少子高齢化社会における社会保障、地域社会の活性化、多様な働き方・生き方の実現、中小企業の意義と課題、日本財政の健全化、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全、安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	○ ○ ○ ○	10
	現代の国際政治 【知識及び技能】 国際社会の変遷、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割とその特徴、冷戦後の国際関係と日本、地域主義の動き について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考・判断力・表現力等】 個人の尊厳と基本的な人権の尊重、対立・協調、効率、公正などに着目して、国際法の果たす役割および国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	・国際政治の特徴 ・国際社会と国際法 ・国際連合の役割と課題 ・戦後国際関係の展開と日本 ・冷戦後の国際関係と日本 ・地域主義の動き ・軍縮の動向と課題 ・紛争・難民・テロリズム ・国際社会における日本の役割	【知識・技能】 国際社会の変遷、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、軍縮と紛争防止、日本の国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代の国際政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立・協調、効率、公正などに着目して、国際法の果たす役割および国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○ ○ ○ ○	10
	定期考査			○ ○ ○ ○	1
3学期	現代の国際経済 【知識及び技能】 貿易の現状と意義、為替レートの変動、国民経済と国際収支、国際協定の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考・判断力・表現力等】 貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいか多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	・貿易と国際収支 ・戦後国際経済体制の展開 ・発展途上国の経済 ・グローバル化する世界経済 ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口・貧困・感染症	【知識・技能】 貿易の現状と意義、為替レートの変動、国民経済と国際収支、国際協定の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人のより豊かな生活を實現するためにはどうすればよいか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○ ○ ○ ○	7
	国際社会の諸課題 【知識及び技能】 国際社会における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる。 【思考・判断力・表現力等】 貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人のより豊かな生活を實現するためにはどうすればよいか多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の国際社会について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする。	・グローバル化にともなう社会変容 ・地球環境と資源・エネルギー問題 ・国際的な経済格差の是正 ・イノベーションの促進と成長市場 ・民族間隔と紛争の解決 ・持続可能な社会の実現	【知識・技能】 国際社会における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 貿易自由化にともなう社会変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際的な経済格差の是正、イノベーションの促進と成長市場、民族間隔と紛争の解決、持続可能な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際社会における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	○ ○ ○ ○	6
	定期考査			○ ○ ○ ○	1
					合計